

## 〔中学生の部〕

### 【最優秀】

「空の碧さ」

新型コロナウイルスの拡大で、私たちの生活は一変してしまいました。

そんな中で、作者が撮った一枚の写真。そこには、雲の合間から見える青空が写しだされていました。コロナの話ばかりの日常の中で、「こんなに（きれい）と感じたことはありませんでした。」と作者は、感動を伝えていきます。

雲は、「今日の社会情勢・拡大したコロナウイルス」。青空は、「希望・本当の豊かさ」を表しているのでしょう。これらは、導入部分でうまく暗示されています。

俵万智さんの短歌との出会いから、本当の豊かさとは何かを考え、周辺を見つめる作者の眼差しは、あの時の青空のように碧く澄み渡っています。

### 【優秀】

「夢の思い出」

作者にとつて忘れられない夏の思い出。それは、大好きないとこたちとの幸せなひと時でした。他愛のないおしゃべりや音楽室での演奏会。音楽好きの四人の楽しそうな様子が生き生きと描かれています。

夢というのは、作者の名前でしょうか。それとも、作者にとつて夢のような出来事という意味なのでしょうか。

別れる間際に写した一枚の写真は、全員が満面に笑みをたたえており、その写真を見る度に、勇気づけられる作者の姿が見られます。

ふるさとを後にしたいとこたちも、辛い時があるかもしれません。

しかし、この笑顔の写真を見る度に、きつと元氣を取り戻すことでしょうか。みんなにとつてもいい思い出となりました。

また、このメンバーで音楽の演奏を楽しむ機会が持てるといいですね。

## 【優良】

### 「部活動」

明るい雰囲気になされて入部した男子ソフトボール部。先輩たちは、四国総体優勝、全国大会三位という華々しい功績を残して引退しました。

その後を引き継いだ作者は、ピッチャーとして活躍するも、疲労骨折のため断念。

しかし、そこには一回りも二回りも成長した作者の姿がありました。

後輩への指導を通して、順序だてて説明する方法を学び、先輩や大人に対する礼儀も身に着け、自信を深めて行く作者の様子が描かれています。

スポーツマンらしく、非常にポジティブな人柄が伺えるような文章です。

作者は、高校でもソフトボール部で活躍したいと考えており、目標に向かって日々努力を重ねています。これからも、前向きに頑張っていたきたいと思えます。

## 【佳作】

### 「時は金なり」

作者は、周辺の人々の意見に左右されるのではなく、人々を説得する位の知恵と勇気を持つことが大切と書いています。

最初の論理の展開はよかったですのですが、最後が、尻切れトンボになってしまい、作者の言いたいことが、上手く伝わってこなかったのが残念でした。

また、「である。」調で書かれていた文章が、最後のページでは、いつの間にか「です。ます。」調になっており、最後四ページの詰めのがさが目につきました。

しかし、自分なりに論理を展開しようとする努力が見られましたので、採らせていただきました。

## 【佳作】

「私は皆の逆が好き」

何か才能を感じさせる文章でした。作者は、一気にこの作品を書きあげたと思われます。

最初の一ページの「晴よりも雨が好き」という文章は、良く書けていると思います。

作者は、小説家になりたいと考えているようですね。どんな小説を書くのか、読んでみたいと思いました。

来年は、高校生ですので、是非、小説で大原富枝賞に挑戦してみてください。

今回、作者の作品を佳作に選んだのは、「晴よりも雨が好き」「月よりも夜空が好き」と逆説的に書いている点に注目しました。

## 【小学生の部】

### 【最優秀】

「ふるさと」

作品からは、作者のふるさとへの思いが、溢れんばかりに伝わって来ました。

こんなにもふるさとを愛することが出来る作者は、とても幸せだと思います。

ふるさとの四季、山、川、海、砂浜、桜貝、ゴイソ掘り、そんな中で出会う、タツノオトシゴやウミガメ、ふるさとの魅力が満載で、私も、行ってみたいと思いました。

実は、大原富枝さんも自然が大好きでした。随筆にも書いていますが、四国のやまなみに囲まれたふるさとをとっても愛していました。

私たちが住んでいる高知には、自然がいっぱいです。そんな中で、生活できることに感謝したいと思います。けれども、いつも目にしてると、その良さは忘れがちになります。

是非、作者には、ふるさとの魅力を語り続けていただきたいと思います。

### 【優秀】

「その日まで」

作者は、とても優しい方だと思えます。入院中のおばあさんに会えない寂しさを、手紙や新聞の投稿に託して、おばあさんの元へ届けています。

そんな作者の優しさが、しみじみと伝わってきました。少しでも早く、コロナが終息して、おばあさんに会うことが出来るよう願っています。

また、おばあさんが元気になって、作者が好きなだけのこの田舎寿司の作り方を教えてもらえるようになればいいですね。

大変な時代ですが、これからも、おばあさんを励ましてあげてください。

### 【優良】

「楽しかったまきのしよくぶつえん」

牧野植物園を訪ねて、食虫植物のウツボカズラやモウセンゴケなどを見て名前を覚え、同じ仲間のハエトリグサの餌やり体験の様子や葉っぱの大きさが、2mもあるというオオオニバスの特徴などよく観察できていたと思います。

また、作者は、赤ちゃんの時に、オオオニバスの上に乗ったこともあるのですね。小さかったので覚えていないようですが、想像するととても楽しいですね。写真があれば、是非、拝見したかったです。

植物園では、とても楽しい経験をしました。これからも色々なことを経験し学んでください。

### 【佳作】

「お父さんの仕事の手つだい」

作者は、お父さんの仕事である農業の手伝いをよくしているようで、本当に偉いですね。ダンボールに貼るハンコ押しやケール取りやアレッタの袋詰めなど、手伝っている様子が良く書いていました。

また、お父さんとお母さんが頑張っている姿を見て、作者が手伝いをしたいと思うようになり、また、勉強への意欲も出てきました。農業の仕事はとても大変です。これからお父さんやお母さんを手伝ってあげてくださいね。

### 【佳作】

#### 「ぼくの弟みずき」

弟のみにき君は、みずき君に対して、とても優しく、泣いているときに声掛けをしたり、おむつを捨ててあげたりと、よく面倒をみているようですね。

その時の様子が、とてもよく書けていました。

また、みずき君の様子も、皆に解るように、上手に書いてくれました。頭をすりすりして後ろが丸くはげていること、抱っこすると嬉しがつてびよんぴよんすることなど、その時の様子が目に浮かぶようです。これからも兄弟三人仲良くしてくださいね。

### 【佳作】

#### 「楽しかったキャンプ」

一泊二日で徳島県の穴内川でのハゼ取りやキャンプ場でのキャンプの様子を詳しく書いてくれました。テントを張ると、ファイヤースターターで火を熾し、夕飯の準備です。

作者の作った炊き込みご飯は、妹たちにも大好評。お父さんが焼いた鶏肉も美味しく、デザートは、串に刺して焼いたマシユマロ。その時の様子が目に浮かぶようです。情景描写がとても上手でした。

でも、一緒にキャンプを楽しんでくれる、お父さんやお母さんがいてくれて、本当によかったですね。これからも、いろいろな楽しいことを書いて、みんなに教えてくださいね。